

科目	人体の構造と機能 V 運動器、神経(眼・耳鼻)				
時間数	1単位 22時間	授業方法	講義	授業時期	1年
講師名	④今中徹 ④中村寿				
実務経験	④医師(医療機関)				
ねらい	運動器と脳神経について系統別に学び、身体の支持と運動、脳と感覚情報の伝達・受容を関連付けて理解する。				
目標	身体の支持と運動、脳と感覚情報の伝達・受容を関連付けて理解できる。				
授業計画					
回	内容				
1	運動器 (1)骨と骨格 (2)骨の連結				
2	(3)骨格筋 (4)体幹の骨格と筋				
3	(5)上肢の骨格と筋				
4	(6)下肢の骨格と筋				
5	(7)筋の収縮				
	まとめ				
6	神経(眼・耳鼻) (1)神経系の構造と機能				
7	(2)脊髄と脳				
8	(3)脊髄神経の構造と機能				
9	(4)脳神経の構造と機能				
10	(5)運動機能と下行伝達路				
11	(6)体性感覚と上行伝達路				
	まとめ				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 各講師が各々の担当領域について終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して100点満点で評価する。各試験、60点以上を及第点とする。				
教科書	<u>共通</u> 人体の構造と機能①解剖生理学:医学書院				
	<u>運動器</u> 成人看護学⑩運動器:医学書院				
	<u>脳神経</u> 成人看護学⑦脳・神経:医学書院				